

平成31年度（2019年度）加賀市当初予算概要

H31.2.21 予算説明会

この資料中、「前年比」は前年度当初予算比を表します。

1 全会計の予算総額 662億3,280万円（前年比 +12億3,580万円 +1.9%）

平成31年度（2019年度）の加賀市当初予算は、水道事業及び下水道事業会計を除くすべての会計において前年比で増額となっており、全会計の予算総額も、前年比 1.9%増加している。

2 一般会計予算 326億4,100万円（前年比 +10億100万円 +3.2%） <地方財政計画の伸び率 2.7%>

一般会計では、加賀ごみ処理施設（焼却施設）・リサイクルプラザ基幹的設備改良事業などの事業費の増加を始めとし、新たに「世界首長誓約／日本」や「業務のデジタル化」を推進する事業を実施するとともに、継続して「かがっこ応援プロジェクト」、「スマート加賀IoT推進事業」及び「小中学校におけるプログラミング教育」の実施などに強力に取り組むこととし、予算規模は前年比 3.2%増加している。

主な歳入	(予算額)	(前年比)	(主な増減理由)
① 市 税	93億1,760万円	(+ 4.7%)	固定資産税における新增築家屋分や法人市民税法人税割の増加
② 地方譲与税及び交付金	19億2,500万円	(△ 3.4%)	自動車取得税の廃止（2019年10月）に伴う交付金の減少
③ 地方交付税	73億1,320万円	(△ 1.7%)	市税の増加に伴う普通交付税減少
④ 国庫支出金	50億2,409万円	(+ 1.8%)	加賀ごみ処理施設（焼却施設）・リサイクルプラザ基幹的設備改良補助金の増加
⑤ 県支出金	19億9,757万円	(+ 1.1%)	選挙費委託金（参議院、県議会議員）の増加
⑥ 繰入金 (うち、財政調整基金の取り崩し 5億9,000万円(± 0.0%))	14億614万円	(+ 7.3%)	環境美化センター施設整備基金繰入金の増加
⑦ 市 債 (うち、臨時財政対策債 9億3,740万円(△14.8%))	45億9,662万円	(+ 22.0%)	加賀ごみ処理施設（焼却施設）・リサイクルプラザ基幹的設備改良事業債、借換債の増加

主な歳出

	(予算額)	(前年比)	(主な増減理由)
① 人件費	46億2,695万円	(△ 1.5%)	職員数減による職員給与費の減少
② 扶助費	69億3,469万円	(△ 1.5%)	生活保護扶助費の減少
③ 公債費	41億4,375万円	(+ 7.2%)	借換債の増加
④ 物件費	51億4,037万円	(+ 5.3%)	加賀市プレミアム付商品券事業費、固定資産税評価に伴う鑑定委託費、選挙費(参議院、県議会議員)の増加
⑤ 補助費	18億2,642万円	(+ 3.1%)	保育園等給食費無料化事業の増加
⑥ 投資及び出資金	6億5,966万円	(△ 4.2%)	病院事業会計への出資金の減少
⑦ 貸付金	1億1,144万円	(△ 46.9%)	機械設備貸与資金の減少
⑧ 繰出金	43億8,726万円	(+ 0.1%)	
⑨ 投資的経費	43億7,903万円	(+ 21.3%)	加賀ごみ処理施設(焼却施設)・リサイクルプラザ基幹的設備改良事業の増加

3 特別会計予算(5会計) 165億2,280万円 (前年比 2億250万円 +1.2%)

(1) 国民健康保険特別会計 77億6,150万円 (前年比 +1億9,280万円 +2.5%)

医療費の増加が見込まれることから、保険給付費の増加を見込む。

(2) 後期高齢者医療特別会計 9億6,860万円 (前年比 +3,140万円 +3.4%)

被保険者数の増加(H30 11,800人⇒H31 12,100人 +300人)などに伴い、後期高齢者医療保険料収入及び広域連合への納付金の増加を見込む。

(3) 介護保険特別会計 74億9,660万円 (前年比 +7,310万円 +1.0%)

サービスの利用者の増加及び報酬改定に伴う介護給付費の増加により、全体的な増加を見込む。

(4) 加賀山代温泉財産区特別会計 1 億 3,000 万円 (前年比 +150 万円 +1.2%)

「総湯」・「古総湯」の利用促進を図りながら、管理運営事業を引き続き行う。

(5) 加賀山中温泉財産区特別会計 1 億 6,610 万円 (前年比 +360 万円 +2.2%)

源泉の配湯事業を行うとともに「菊の湯」の利用促進を図りながら、管理運営事業を引き続き行う。

※ 土地区画整理事業特別会計は、橋立土地区画整理事業については、市債償還が終了し、保留地は売却済、長谷田西土地区画整理事業（宮の杜）については、市債償還が終了し、保留地は8区画を残すのみとなるため、平成 30 年度末をもって廃止する。なお、資産、債権及び歳計剰余金は、一般会計が引き継ぐ。（平成 30 年度当初予算 9,990 万円）

4 企業会計予算（3会計） 170 億 6,900 万円 (前年比 +3,230 万円 +0.2%)

(1) 病院事業会計 88 億 9,450 万円 (前年比 +2 億 720 万円 +2.4%)

医療センターの運営により、安定した地域医療の推進を図る。

(2) 水道事業会計 39 億 7,880 万円 (前年比 △1 億 760 万円 △2.6%)

水道事業ビジョンに基づき、老朽化した水道管や水道施設の更新事業を行う。

(3) 下水道事業会計 41 億 9,570 万円 (前年比 △6,730 万円 △1.6%)

大聖寺川処理区（山中温泉長谷田町・大聖寺西町・作見町など）等の下水道整備事業を行う。